

2020年度のトピック

パンデミック下の共同募金会の活動

2020年度、世界を覆ったパンデミックにより、地域では、孤立・孤独の課題をかかえる人びと、また雇用を失い生計が維持できない人びとが急増しました。

いっぽうで、他者とのこれまでどおりのコミュニケーションが難しくなるなか、これまで共同募金の助成により実施されてきた、人と人とのつながりを基本においた地域福祉活動の実施が難しくなるケースが多発しました。

2020年度の共同募金会では、新たに生じた困窮や孤立・孤独の課題にいち早く取り組む活動を、初の試みである「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」で支援しながら、これまでの助け合いによる地域の福祉活動も、絶やすことなく支援しつづける一年となりました。

「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」の展開

中央共同募金会では、2020年3月に「臨時休校中の子どもと家族を支えよう 緊急支援活動助成事業」を開始し、同5月からは都道府県共同募金会との協働による「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」として活動を拡大しました。

中央共同募金会では、都道府県共同募金会と協働し、各区域における子どもや家族の支援活動や、フードバンク活動支援や居場所を失った人への緊急支援を行いました。

中央共同募金会による助成プログラム

臨時休校中の子どもと家族を支えよう 緊急支援助成	●第3回助成※	211件	1,839万円
フードバンク活動等応援助成	●第1回助成	120件	1億333万円
	●第2回助成	114件	9,509万円
居場所を失った人への緊急活動応援助成	●第1回助成	21件	3,953万円
	●第2回助成	29件	6,277万円
withコロナ 草の根活動応援助成	●第1回助成	148件	1,480万円
	●第2回助成	203件	2,030万円
	●第3回助成	300件	3,000万円

※第1回、第2回助成は2019年度内（2020年3月）に実施

フードバンク活動等応援助成

「コロナ禍による生活困窮世帯の支援拠点整備と配布食材購入事業」

鹿児島県曾於市 財部町身体障害者協議会（フードバンクそお）

フードバンクそおは、2018年から活動を開始し、こども食堂と連携した活動、母子家庭等の児童の学習支援を行うNPO、児童養護施設、母子寡婦福祉協議会を通じて母子家庭等に対して、食品の提供活動等を実施しています。コロナ禍の影響により緊急に食品等を必要とする人々が増え、フードバンクの役割が大きくなるなか、第1回助成で冷凍・冷蔵保管庫が整備できたことから、冷凍・冷蔵食品を引き受けることが可能となり、食料支援が必要と判断された場合、タイムリーな支援ができるようになりました。

離職を余儀なくされたり、就労日数や時間が短縮されたりして、収入が減少し、生活費や食費が不足する家庭が増えています。第2回助成では、お米等の食材を購入し、生活相談支援センター等において、生活困窮者への食料支援を展開しました。たとえば数日食べていない方には、まず食事をしていただき、数日分の食材等を渡すなど、緊急相談を含めた様々な相談ケースで、食料提供という支援をよりスムーズに実現できる体制ができたと考えています。



居場所を失った人への緊急活動応援成

「休校明けの生徒が緩やかなスタートを切るための緊急支援事業」

東京都渋谷区 特定非営利活動法人ピアサポートネットしづや

新型コロナウイルス感染拡大により小中高校で全国一斉休校が実施されました。長期休暇明けに不登校や自死が増加する傾向があるため、オンラインを活用した個別相談や学習支援と居場所を行いました。

事業を行う中で渋谷区の公立中学校から依頼があり、放課後に学習を中心とする居場所を校内で行いました。対象は中学1年生のうちクラス担任が気になる生徒で、保護者の了解を得て参加しました。

宿題を持ち寄るも手につかない生徒も多く、大学生や地域の大人が生徒の話を受けとめました。その結果、学校や家庭に自分の居場所を見い出せない生徒が、安心して自分を解放できる場になりました。多忙を極める教員や不安を抱える保護者にも好評で、学校では「ピアサポート学習」として定着しました。



withコロナ 草の根活動応援成事業

「新たな活動のためのツール・資材等の整備事業」

香川県高松市 高松市まちづくり学校実行委員会

私たちは市民向けに市民活動や地域活動の担い手育成講座を年7回開催しています。しかし、新型コロナウイルス感染下の講座開催では感染症対策が求められるものの、備品購入のための資金が不足していて、開催が危ぶまれていました。

そこでこの助成により、オンライン講座用のパソコンやWEBカメラ、マイクなどと、対面講座用に非接触体温計と消毒液を購入しました。

その結果、感染症対策をしながらの少人数での対面講座と、WEBを利用したのオンライン講座を開催することができ、公開講座ではこれまでのべ90名ほどの市民に参加していただきました。

コロナ禍であっても高松の市民活動の裾野を広げる活動ができました。ご寄付をいただきました皆様、本当にありがとうございました。



三菱財団×中央共同募金会による共同助成 外国にルーツがある人々への支援活動応援成事業

三菱創業150周年記念社会貢献事業の一環として供出された公益財団法人三菱財団からの資金を原資に、新型コロナウイルスの影響下において、国内に在住し、生活に困窮する外国にルーツがある人々を支援することを目的とした助成を、同財団と共同で実施しました。留学生など、新型コロナウイルスの影響により職や住居を失い生活が困窮する人や、母国の入国制限による帰国困難者等に対して、相談支援や生活・就労支援、学習支援や居場所提供、多言語による情報提供を行うなど、さまざまな活動に、55件、1億円の助成を決定しました。

「外国にルーツがある家庭の生活とその子どもたちの学習環境を整え支援する事業」

三重県伊賀市 特定非営利活動法人伊賀の伝丸

派遣等が多い外国ルーツの労働者は、新型コロナウイルス感染の影響により解雇され生活が困窮する家庭が増えています。苦しい家計ではネット環境が整わず、こどもの学習に必要な日本語支援が届きません。

そこで多言語による生活相談支援、食料支援を行いました。様々な相談が寄せられ、1件を除きアドバイスや相談先を伝え解決しました。また地域の他団体と連携し希望する家庭すべてに食料を提供しました。

特に支援が不足する10代後半の子どもたち向けにオンラインを活用した日本語講座を実施。プロによる短期集中講座や通訳を入れた心のケアにより、高校中退から再チャレンジして志望校に合格するなど嬉しい成果が出ています。



赤い羽根共同募金 ～パンデミック状況に対応した適切な支援活動を実施～

パンデミック状況下、赤い羽根共同募金が大切にしてきた、身近な地域における人と人との支え合いが難しいものになる恐れがありました。

また、支え合いによる地域福祉活動の実施の幅が狭まるなか、地域の孤立・孤独の状態にある方を見逃してしまうことにつながる懸念も早くからありました。

共同募金会では、助成で行っている活動について、パンデミックに対応した事業の形態変更や、実施期間の変更等に柔軟に対応することを方針として活動したほか、対面型でない新たなつながりづくりの機会を促進するなど、助成を通じた価値創造を模索しました。



ありがとうメッセージから

福井県
永平寺町

高齢者の集まりの場を安否確認を兼ねた訪問活動に切り替え

永平寺町社会福祉協議会では、町内のひとり暮らしの高齢者を対象とした集まりの会食等を実施していましたが、事業内容を見直すこととし、これまで実施してきた電話による見守りに加え、民生委員児童委員との安否確認を兼ねた訪問活動のスタイルで事業を実施することになりました。

10月から3か月かけて町内のひとり暮らし高齢者約416名のもとを訪問しましたが、訪問先の高齢者からは「買い物以外はまったく外出しなかった」というような声が聞かれたほか「訪問してきてくれたことがとても嬉しい」といった声も多くいただきました。

訪問した民生委員児童委員の皆さんからも、「これまでなかなか接触できていなかった高齢者に対して初めて訪問する機会ができた」との評価をいただきました。

パンデミックの影響による事業の見直しでしたが、これまで実施してきた活動の目的や意味合いをあらためて見直すことができたと思っています。



宮崎県
都城市

パンデミック状況下でも可能な地域での交流イベントを開催

都城市では、パンデミックを受け、学校支援として市内の小中学校で実施していた、学校間交流（他県学校との交流）、体験交流などのイベント等を中止とせざるを得ない状況となりましたが、ここで計画を変更し、地域の高齢者世代とともに、児童、生徒が同じ作業を行う、学校の環境美化活動に取り組むことにしました。

地域の高齢者にとって、子どもたちとの花植えを通じた、世代間交流を図るなか、地域と学校が一緒になって同じ目的に挑むことによって、地域が一体化したと考えています。これを機会に「地域の子どもは地域で育てる」という機運が高まりました。





2020年度

赤い羽根「臨時休校中の子どもと家族を支えよう 緊急支援募金」 「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」募金 その他コロナ関連支援へのご支援ご協力企業・団体例 (五十音順・敬称略)

アークシステムワークス株式会社

アスエイト・アドバイザー株式会社

アズビル株式会社 / azbilみつばち倶楽部 / アズビル労働組合

一般財団法人アズビル山武財団

アムジェン株式会社

伊藤忠プラスチック株式会社

Western Digital Corporation

Wells Fargo

栄研化学株式会社

株式会社エウレカ

SMBCグループ 新型コロナウイルス対策支援募金

エドワーズライフサイエンス株式会社

エフコープ生活協同組合

岡谷鋼機株式会社

Cardinal Health Inc.

花王株式会社

カシオ計算機株式会社

株式会社KISS TOKYO

ギリアド・サイエンシズ株式会社

クラシエホールディングス株式会社

株式会社クリーマ

クレディ・スイス証券株式会社

経団連1%クラブ

株式会社サイコム

株式会社SynaBiz

シービーアールイー株式会社

株式会社JCU

シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社

ジャパングolfツアー選手会

昭和産業株式会社

スミセイ情報システム株式会社

住友生命保険相互会社

生活協同組合コープみらい

株式会社セント・フォース

ソニー株式会社

ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社

ソフトバンク株式会社

武田薬品工業株式会社

中日ドラゴンズ選手会 / 株式会社中日ドラゴンズ

株式会社DeNA川崎ブレイブサンダース

デロイト トーマツ グループ

東京海上グループ

富山県花卉球根農業協同組合

日本中央競馬会

日本電信電話株式会社

日本イーライリリー株式会社

日本商工会議所

日本たばこ産業株式会社

ニュースキンジャパン株式会社

人間力大学

パークレイズ証券株式会社 (Barclays)

パナソニック株式会社

BHP Japan

ピツニーボウズジャパン株式会社 / Pitney Bows Foundation

株式会社ファミリーマート

フィリップ モリス ジャパン合同会社

ブックオフコーポレーション株式会社 (キモチと。)

PayPay株式会社

ホーユー株式会社

北海道テレビ放送株式会社

Microsoft Corporation / 日本マイクロソフト株式会社

マイクロン財団

マツダ株式会社

三井住友建設株式会社 / 三井住友建設役職員有志の皆さま / 三井住友建設社員組合

公益財団法人三菱財団

三菱商事株式会社

三菱電機株式会社 / 三菱電機SOCIO-ROOTS基金

三菱電機エンジニアリング株式会社

メディケア生命保険株式会社

モルガン・スタンレー・ホールディングス株式会社

ヤフー株式会社 (ヤフオク! / Yahoo! ネット募金)

株式会社ユナイテッドアローズ

株式会社横浜フリースポーツクラブ

株式会社ワタナベエンターテインメント

「#志尊の自粛部屋」プロジェクト

Special Thanks

United Way Worldwide



海外からの寄付受入れにご協力いただきました。

このほか多くの企業・団体の皆さまにご支援・ご協力をいただきましたことに心より感謝申しあげます。

※ご寄付の際に寄付申込書をご提出いただくなど、中央共同募金会よりご連絡が可能であった企業・団体のうち、ご承諾いただいた場合のみ名称を掲載しております。また、掲載にあたっては基準を設けさせていただきました。